

はじめに

本市では、2009（平成 21）年 3 月に「紀の川市男女共同参画推進プラン～きのかわハートフルプラン～」を策定、また 2014（平成 26）年 3 月にプランを見直し、男女共同参画の実現に向けて総合的に施策を推進してまいりました。

しかし依然として、性別による固定的役割分担意識や社会慣行などが残されています。さらに社会で働く女性の増加による女性の活躍支援や男女共同参画の視点に立った防災対策、男女間のあらゆる暴力に関する問題など、新たな課題も浮かび上がってきました。



少子高齢化により人口減少が進み、働き方や価値観などが多様化する中、性別に関係なく、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現が強く求められています。この間、国においては「第 4 次男女共同参画基本計画」の策定が、和歌山県においては「和歌山県男女共同参画基本計画（第 4 次）」の策定が行われました。

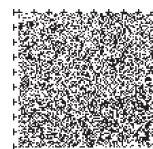
こうした新たな課題にも対応し、国・県の基本計画の考え方を反映させるため、「第 2 次紀の川市男女共同参画推進プラン」を策定いたしました。また、本年 4 月から新たにスタートする「第 2 次紀の川市長期総合計画」においては、めざすまちの将来像を「人が行き交い 自然の恵みあふれる 住みよいまち」に定め、まちづくりの目標のひとつとして「健全で自立したまち～ともに参加しよう～」を掲げ、男女共同参画社会の実現を位置づけています。本市としても、一人一人があらゆる分野において輝ける社会の実現に向けて、積極的にまちづくりを進めてまいります。

市民のみなさまには、男女共同参画社会の現状やこのプランについてご理解をいただき、男女がともに活躍できる社会の実現がより一層進むようご協力をお願いします。

最後に、プランの策定にあたり多大なご尽力をいただきました「紀の川市男女共同参画懇話会」委員のみなさまをはじめ、ワークショップにご参加いただきましたみなさま、市民意識調査にご協力いただきましたみなさまに心からお礼を申し上げます。

2018（平成 30）年 3 月

紀の川市長 中村慎司



目次

第1章 計画の基本的な考え方

1. 計画策定の趣旨	1
2. 計画の位置付け	2
3. 計画の期間	3
4. 計画策定における体制	3

第2章 紀の川市の現状

1. 男女共同参画に向けた取組	5
2. 統計データからみた紀の川市の現状	8
3. 意識調査からみた紀の川市の現状	13

第3章 計画の基本理念・目標と施策の方向性

1. 計画における基本理念	25
2. 計画の基本的視点	26
3. 施策の体系	27

第4章 施策の展開

基本目標 1 あらゆる分野において男女がともに活躍できる環境づくり	29
基本目標 2 仕事も生活も大切にできる環境づくり	34
基本目標 3 個人の尊厳が確立された社会づくり	42
基本目標 4 男女共同参画の視点に立った意識・健康づくり	50

参考資料

